

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂において、第七十六期 一般幹部候補生課程入校式及び第八期医科歯科看護科幹部候補生課程始業式が、厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部候補生課程に入校される皆様、そして御臨席の御家族の皆様、本日は誠にありがとうございます。

皆様のような、有能な若者をお迎えできることは、地元江田島市としても大きな喜びであり、心より歓迎を申し上げます。

皆様は、この輝かしい歴史と伝統を誇る幹部候補生学校にめでたく入校され、本日より、厳しい練成訓練を受けることとなります。国際情勢が急速に変化し、不確実性を増し続ける中、日本の安全保障政策は大きな転換点を迎えております。

こうした環境の中、皆様が果たす自衛官としての使命や、自衛隊の皆様への国民の期待は、今後益々大きなものになることが予想されます。

どうぞ、皆様におかれましては、選り抜かれた精鋭達が集まるここ江田島の地で、幹部自衛官としての、強い責任感と確固たる使命感をもって己を磨き、国民の負託に応え得る技量を身につけていただくことを、期待しております。

さて、皆様、御存知のとおり、ここ江田島市は、明治二十一年海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし、現在に至るまでの長きに渡り、共存共栄・一体不可分の関係を築き、皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

全国各地で出会う、ここ幹部候補生学校に縁ある全ての方々は、江田島市に対して非常に好意的であります。その度に私は、長年紡いできた縁や絆が、確実に息づいていると実感し、先人たちが築いてきた、こうした両者の良好な関係を、維持発展させる努力を続けて参りたいと、決意を新たにしております。

本日御入校の皆様方におかれましても、厳しい訓練の合間には、人情や自然に触れ、島の魅力を存分に楽しんでいただき、江田島市との「縁」を大切に紡ぎ、思い出深い学生生活を送っていただきたいと思います。

そして、ここ江田島市での皆様の生活が、実りある充実したものとなり、自衛官としての人生の中で、大きな糧になりますことを、強く願っております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして、本日、御参会のすべての皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和七年四月五日

江田島市長 土手 三生